

<p>【技術の名称】 ZTM 柱脚杭頭接合法 -鉄筋コンクリート接合部を用いた鋼管 (CFT を含む) 柱脚と既製杭との接合法-</p>	<p>性能証明番号 : GBRC 性能証明 第 07-22 号 性能証明発効日 : 2008 年 1 月 8 日</p> <p>【取得者】 前田建設工業株式会社 株式会社銭高組 東洋建設株式会社</p>
---	---

【技術の概要】

本技術は、鋼管またはコンクリート充填鋼管 (CFT) の柱脚部と既製杭頭部を、両者の間に配置した鉄筋コンクリート接合部 (以下、柱一杭切替部と称する) を介して接合する工法である。本工法で用いる既製杭は、JIS A 5373 に適合するプレストレストコンクリート杭、JIS A 5525 に適合する鋼管杭および JIS A 5372 に適合する鋼管複合杭である。プレストレストコンクリート杭の場合は既製杭頭部の上端部は端板と補強バンドで補強され、柱一杭切替部に定着される切替部主筋が補強バンドにフレア溶接によって接合される。鋼管杭または鋼管コンクリート杭の場合は、切替部主筋は鋼管にフレア溶接によって接合される。また、所定長さの柱鋼管を埋め込み、切替部主筋の周囲に横補強筋および集中補強筋を配置し、コンクリートが打設され、柱一杭切替部が一体化される。埋め込まれた柱鋼管には、コンクリートとの一体性を高めるために、支圧プレートが接合される。本工法は、基礎梁が接続しない杭頭部および一方のみに基礎梁が接続する場合の基礎梁が接続しない方向の杭頭部との接合を適用対象とする。

【技術開発の趣旨】

本工法は、従来のパイルキャップをなくし、既製杭の打設時寸法誤差を吸収し易くするなど、施工の合理化および省略化を意図して開発されている。

【性能証明の内容】

申込者提案の設計指針に従って設計した柱一杭切替部は、設計で保証すべき長期荷重時および短期荷重時の構

造性能を有し、設計指針で定める終局耐力を有すると判断される。また、同柱一杭切替部の回転剛性は、設計指針で提示している方法によって評価できると判断される。

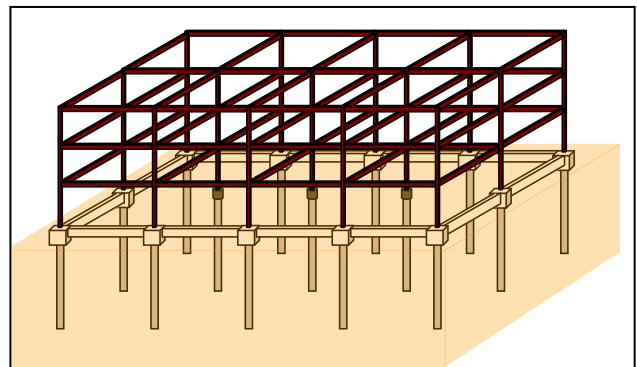


図-1 適用建物の概要

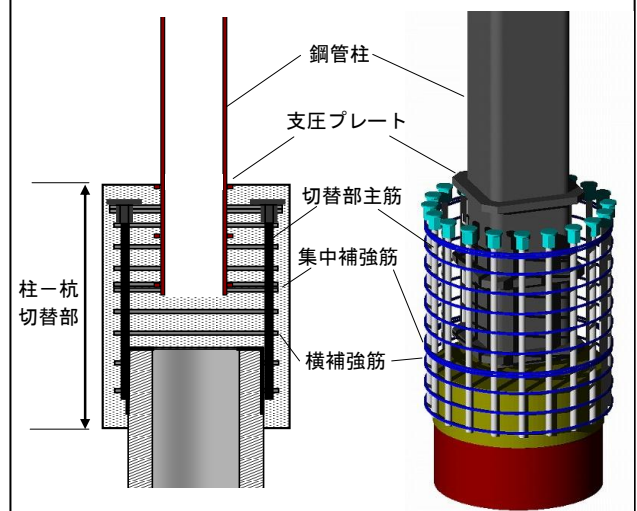


図-2 工法概要および各部名称

【本技術の問合せ先】

前田建設工業株式会社 建築事業本部建築技術部 担当者：成瀬 忠	E-mail : tnaruse@jcity.maeda.co.jp
〒101-0064 東京都千代田区猿楽町 2-8-8 猿楽町ビル	TEL : 03-5217-9542 FAX : 03-5217-9641
株式会社銭高組 技術研究所 担当者：五十嵐 治人	E-mail : igarashi_haruhito@zenitaka.co.jp
〒102-8678 東京都千代田区一番町 31	TEL : 03-5210-2440 FAX : 03-5210-2462
東洋建設株式会社 担当者：荒金 直樹	E-mail : aragane-naoki@toyo-const.co.jp
〒300-0424 茨城県稲敷郡美浦村受領 1033-1	TEL : 02-885-7511 FAX : 029-885-7766